

# 11月中間集約 80万筆を超える“願い”を集約

スタートの遅れを挽回するペースを築こう!!

11月13日の中間集約報告には14県からの報告が届きました。10月末報告と合わせ11/20現在82万694筆と80万筆を超過する集約数に到達しています。

## 働きかければ応えてもらえる情勢を活かそう

コロナ禍によるスタートの遅れが少ない県から報告されていますが、概算要求に向けた要請ハガキが昨年集約数を上回ったように、働きかければ応えてもらえる状況です。11月3日神奈川「私学のつどい」で設置した街頭署名机では、親子づれをはじめ署名に強力する方が列を成したそうです。街頭署名に立った公立教組の報告でも、どの県でも反応が良く「例年よりも集約できた」の報告が届いているそうです。街は「少人数学級 実現」の下地ができてきている情勢です。

### 「無償化」は折り返し点の自覚にたって運動をつくろう

愛知は、コロナ禍に対応し規模を縮小しつつも、県議会議員全ブロックで開催するオータムフェスを39地区で今年も開催しています。「年収720万円まで無償化」への尽力についての感謝の意を表明することを基調にしての開催です。しかし、多くの会場で登壇した議員さんが「年収910万円まで無償が実現するまで頑張る」とあいさつされたそうです。

これまでの運動が県議会議員の私学の学費問題を認識させ、無償化への意識を変えさせたのだといえます。神奈川の「私学のつどい」では、数十名の議員さんからメッセージが届きました。既報のように山形のフェスティバルでは、議員さんが直接参加の高校生、そして高校生の工夫によるオンライン参加の姿に涙する議員さんの姿など、この間の各県の運動が私学の学費問題、私学の学費問題を議員に意識させるところにきています。これはこれまで50年間にわたり5億7900万筆の私学助成全国署名を積み上げてきた成果であることを確信にしましょう。

	自主目標	11月13日	10末-1115増分	目標比11/15
北海道	50,000	500	0	1.00%
岩手	84,800	14,868	11,488	17.53%
山形	100,000	27,585	0	27.59%
宮城	15,500	1,620	1,620	10.45%
栃木	5,000	2,636	2,636	52.72%
千葉	100,000	3,537	0	3.54%
神奈川	710,000	1,721	1,721	0.24%
新潟	120,000	10,265	0	8.55%
石川	20,000	2,130	2,130	10.65%
愛知	2,000,000	734,643	591,374	36.73%
奈良	30,000	8,513	8,513	28.38%
島根	1,000	337	0	33.70%
岡山	100,000	722		0.72%
広島	30,000	1,500	1,500	5.00%
山口	39,000	1,400	1,400	3.59%
香川	30,000	2,650	1,574	8.83%
愛媛	3,000	0	0	0.00%
高知	50,000	5,797	0	11.59%
熊本	60,000	270	229	0.45%
	4,516,500	820,694	624,185	#DIV/0!

## 声を出さないと事態は変わらない、声を出し続けないと事態は後退する

兵庫すすめる会の学習会を報じた22号で強調したフレーズです。毎年「増額要求を要請する」FAX行動を提起しなくてはならないように、私学経常費助成補助予算は裁量的経費枠であり、声を出さないと前進しない、後退の危険を常に孕んでいる予算です。

コロナ禍でその必要が実感された「少人数学級」とその実現のための専任増。私学で実現させるためには、経常費助成補助の増額しかありません。そしてコロナ禍の情勢の中で、その必要を父母・生徒・地域に訴えやすい情勢です。

県向け提出は11月末～12月初旬の県が多数ですが、国向けについては2021年2月中旬までとして、テンポ、方針を新たにしていとりくみを強化しましょう。